| やすらが丘<br>事業所自己評価・ミーティング様式 | 実施日 | 令和　5年　12月　15日（　17：30　～ 18：30　） |
|---|---|---|

| １．　初期支援（はじめのかかわり） | やすらが丘メンバー | 野端・吉野・村重・山中・初村・磯部・久保・菅藤・織田・岡本・品川・高橋・岩﨑・武永・水戸・門出・徳永・中村 |
|---|---|---|

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック項目 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ⓪ | 前回の課題について取り組めましたか？ | 2人 | 12人 | 3人 | | 17人 |

| 前回の改善計画 |
|---|
| アセスメントシートは、病院の相談員や、ケアマネジャー、家族等から情報を集めて作成。利用開始前に情報を共有。情報と実際の状態が食い違う場合が出てくると思うが、支援を開始してからの情報も共有出来る様に、連絡ノート、日々のミーティングを利用する。 |
| **前回の改善計画に対する取組み結果** |
| 各部署、担当からの情報が入る都度、出来るだけタイムリーに情報を共有する様に心掛け、利用開始前に情報を共有する事が出来た。これにより支援開始してから適切な支援が出来、新たな情報などは連絡ノート、日々のミーテイングで共有出来ている。 |

◆今回の自己評価の状況

| 確認のためのチェック項目 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？ | 3人 | 11人 | 3人 | | 17人 |
| ② | サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？ | 1人 | 12人 | 4人 | | 17人 |
| ③ | 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？ | 3人 | 11人 | 3人 | | 17人 |
| ④ | 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？ | 1人 | 12人 | 4人 | | 17人 |

| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
|---|---|
| ・利用者やご家族、相談員から得た情報は出来るだけ速やかに周知するようにアセスメントシートを作成しミーティング等で情報の共有は出来ている<br>・入居された際は積極的に声掛けを行い利用者が馴染める様に初期支援を行う事が出来ている<br>・利用開始前よりケアマネと情報を共有したり、アセスメントシートを見て情報収集し、支援が始まってからも連絡ノートやミーティング等で情報共有ができている<br>・家族とのコミュニケーションは大切にしている | |

| できていない点 | 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること |
|---|---|
| ・連絡ノート、日々のミーティングでは出て来ない夜間の情報が上手く取れていない<br>・本人を支える為の家族、介護者の不安を受け止める事があまり出来ていない<br>・自分の担当の利用者や家族とのコミュニケーションは割と取りやすいが担当以外になると中々出来ない<br>・アセスメントの情報と違っている事があり戸惑ってしまうことがある<br>・家族とのタイミングを逃すと中々会えないことがある | |

| 次回までの具体的な改善計画 | （200字以内） |
|---|---|
| 夜間帯の情報は朝の申し送り、日報等で情報は取れていると思うが、入所されアセスメントの情報も違う事がある。その都度、利用者とコミュニケーションをとり情報共有しスタッフ間で周知を図る。<br>コロナ対策緩和の為、ご家族の面会も増えてきたので、特に週末はゆっくり話ができる時間を作るようにしたい。 | |

| 事業所自己評価・ミーティング様式 | 実施日 | 令和　5年　12月　15日（　17：30　～ 18：30　） |
|---|---|---|
| ２．　「～したい」の実現<br>（自己実現の尊重） | メンバー | 野端・吉野・村重・山中・初村・磯部・久保・菅藤・織田・岡本・品川・高橋・岩﨑・武永・水戸・門出・徳永・中村 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック項目 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ⓪ | 前回の課題について取り組めましたか？ | 1人 | 13人 | 3人 | | 17人 |

**前回の改善計画**

・今まで通り、カンファレンスは、半年に１回のペースで行う。そこでの意見交換で、本人の目標に近づいていく。
・各職員の持っている利用者の方の情報、思いなどを、全職員に伝えるようにしていく。その為の伝達方法としては、朝のミーテイング、１４時のミーティング、連絡ノートなどを活用する。非公式の伝達手段として、職員同士の雑談も利用する。雑談で出た情報をまとめ、周知させる手段を考えていく。

**前回の改善計画に対する取組み結果**

全員が同じ意識かの確認までは取れてはいないが、朝のミーティング、14時のミーティング、伝達ノート、カンファレンスや雑談で情報交換をする中、違った視点で物事を捉える事が出来、目標に沿った支援が出来ていると思う。

◆今回の自己評価の状況

| 確認のためのチェック項目 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？ | | 10人 | 6人 | 1人 | 17人 |
| ② | 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？ | | 11人 | 6人 | | 17人 |
| ③ | 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？ | 1人 | 10人 | 6人 | | 17人 |
| ④ | 実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？ | 1人 | 14人 | 2人 | | 17人 |

**できている点**　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・自身が関わった利用者のケアについてはリーダーに報告、ミーティング等で発信し共有している。
・カンファレンスを行い意見交換の中で目標に沿った支援が出来ている。
・担当利用者の把握は出来ている。カンファレンスや日々のミーティング等で他のスタッフにも伝えている。
・カンファレンスやミーティングで利用者の想いについては意見交換が行えている。
・事例検討や自施設実習を通しても個別の取り組みが出来ている。

**できていない点**　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・口頭のみの伝達があり利用者のケアで知らない部分があった。ミーテイングの会話だけで周知したと判断してはいけない。
・情報収集が不十分な為、本人の長期的なゴールが理解できていない。
・時間があればケアプランを見る様にしているが全利用者の把握は出来ていない。
・本人自身の目標は分からない事もあり目標の把握は難しいと思う。
・担当者がカンファレンスの準備が出来ていない事もあり遅れがち。
・日々の業務の中忙しさから関りが持てていない。
・利用者主体ではなく介護者目線での意見が出ることが多く勉強が必要

**次回までの具体的な改善計画**　（200字以内）

利用者主体の考え方を持つためにも職場内研修を行い実現に向けた思考過程を学ぶ。
小さな情報や口頭のみの伝達でもケア記録、伝達ノート、日報等に記録を残し周知を図る。いつも同じ記録を残すのではなく実際の行動や言動を含め違う事があれば記録に残して行くようにする。

| 事業所自己評価・ミーティング様式 | 実施日 | 令和　5年　12月　15日（　17：30　～ 18：30　） |
|---|---|---|
| ３．　日常生活の支援 | メンバー | 野端・吉野・村重・山中・初村・磯部・久保・菅藤・織田・岡本・品川・高橋・岩﨑・武永・水戸・門出・徳永・中村 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック項目 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ⓪ | 前回の課題について取り組めましたか？ | 1人 | 13人 | 3人 | | 17人 |

| 前回の改善計画 |
|---|
| ・日々の関わりから、得られた情報を、今まで以上に活用していく。各自が持っている利用者の方の情報を、文字に残し共有できるようにしていく。 |
| **前回の改善計画に対する取組み結果** |
| 利用者の情報は、日々の関わりから得た情報は、記録や伝達ノート等で細かく文字に残しミーティングにて伝え共有を図った。 |

◆今回の自己評価の状況

| 確認のためのチェック項目 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？ | | 7人 | 9人 | 1人 | 17人 |
| ② | 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？ | 3人 | 14人 | | | 17人 |
| ③ | ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？ | 1人 | 10人 | 5人 | 1人 | 17人 |
| ④ | 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？ | 3人 | 14人 | | | 17人 |
| ⑤ | 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？ | 1人 | 14人 | 2人 | | 17人 |

| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
|---|---|
| ・本人の状態に合わせた食事、入浴、排せつ等の基礎的な介護はできている。入浴時の状態や体調の変化など気づいた時は記録に残し相談や報告を行い受診等の対応をした。<br>・日々のカンファレンスで情報共有出来ていると思う。 | |

| できていない点 | 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること |
|---|---|
| ・業務優先になりご自分の気持ちなど伝えられない利用者の変化に気づいていない事がある<br>・業務に追われ利用者とのコミュニケーション不足の為、訴えを全て傾聴出来ない事がある。<br>・以前の暮らしは10個以上聞き取り覚える事が出来ない。本人も10個以上覚えていなく語られない。 | |

| 次回までの具体的な改善計画 | （200字以内） |
|---|---|
| 最低限、自分の担当利用者だけでも変化に気づける様に努力する。日々、利用者を優先出来るようスタッフ間で業務を協力し、少しでも多く利用者とのコミュニケーションをはかる。 | |

| 事業所自己評価・ミーティング様式 | 実施日 | 令和　5年　12月　15日（　17：30　～ 18：30　） |
|---|---|---|
| ４．　地域での暮らしの支援 | メンバー | 野端・吉野・村重・山中・初村・磯部・久保・菅藤・織田・岡本・品川・高橋・岩﨑・武永・水戸・門出・徳永・中村 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック項目 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ⓪ | 前回の課題について取り組めましたか？ | 1人 | 10人 | 6人 | | 17人 |

| 前回の改善計画 |
|---|
| ・コロナが治まるようならば、とにかく外出の機会を増やしていきたい。事業所のイベントでもよいし、家族との外出のアシストを行うことでもいいので、機会を増やしていく。<br>・地域のイベントの情報を収集し、可能な限り参加をしていく。 |

| 前回の改善計画に対する取組み結果 |
|---|
| 完全ではないがコロナ感染が落ち着き、地域のイベント情報を取集し、参加するなど外出支援が実施され、とても喜ばれていた。家族との外出が可能になり墓参りにも行く事も出来た。 |

◆今回の自己評価の状況

| 確認のためのチェック項目 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？ | | 11人 | 6人 | | 17人 |
| ② | 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？ | | 12人 | 5人 | | 17人 |
| ③ | 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？ | | 7人 | 10人 | | 17人 |
| ④ | 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？ | | 6人 | 8人 | 3人 | 17人 |

| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
|---|---|
| ・小規模を利用されている家族に時々家での様子や家族との関係性など聞いている。<br>・事業所のｲﾍﾞﾝﾄは行えている。地域の夏祭りや子供食堂に無理なく参加されたい方をお連れし参加する事ができた。<br>・外部との対応について緩和され面会等の機会が増えてきた。<br>・少しだが直接面会出来るようになった為、家族との関係性は良くなったと思う。<br>・施設内でもバラ園見学や夏祭り、敬老会など行う事が出来た。 | |

| できていない点 | 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること |
|---|---|
| ・家族の仕事や、コロナ感染等、用心され外出が実施出来ていない方が多い。<br>・介護度の関係上、困難な方が多く地域資源の活用が少ない。<br>・事業所が直接接していない時間の過ごし方の把握はあまり出来ていない。<br>・民生委員や地域資源等の把握が出来ておらず、本人の今の暮らしに必要な民生委員の方の把握が出来ていない。<br>・外出の機会が持てない利用者も多い。本人の体調や高齢、職員の人員不足が原因となっている。 | |

| 次回までの具体的な改善計画 | （200字以内） |
|---|---|
| 運営推進会議には地域の方々も参加されるので、職員の参加も拡大していく。外出の機会が持てない利用者も事業所のイベントや安岡kidsなど施設近くのイベントへの参加の機会を今後も増やして行く。今後ボランティアの受け入れも増やしていきたい。 | |

| 事業所自己評価・ミーティング様式 | 実施日 | 令和　5年　12月　15日（　17：30　～ 18：30　） |
|---|---|---|
| ５．　多機能性ある柔軟な支援 | メンバー | 野端・吉野・村重・山中・初村・磯部・久保・菅藤・織田・岡本・品川・高橋・岩﨑・武永・水戸・門出・徳永・中村 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック項目 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ⓪ | 前回の課題について取り組めましたか？ | | 15人 | 2人 | | 17人 |

**前回の改善計画**

・申し送りや14時のミーティング、連絡ノートを利用し、情報の共有を図っているつもりであるが、連絡漏れや情報の取り違えもあり、完璧に出来ているとは言い難い。情報共有の制度を上げていく

**前回の改善計画に対する取組み結果**

前年度よりは情報の共有の精度は上がって来たが、口頭のみで周知されていないこともあった。日々のミーティング、伝達ノートで情報共有しているが連絡漏れや情報の取り違えもあった。ミーテングのみで共有されていることも多く、知らないということが多かった。

◆今回の自己評価の状況

| 確認のためのチェック項目 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？ | | 10人 | 7人 | | 17人 |
| ② | ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？ | 3人 | 12人 | 1人 | 1人 | 17人 |
| ③ | 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？ | 4人 | 13人 | | | 17人 |
| ④ | その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？ | 2人 | 13人 | 2人 | | 17人 |

**できている点**　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ご家族の要望や利用者の状況に合わせ、通い・泊り・訪問はスタッフ間で共有し対応出来ている。
・地域資源は活用できるところは出来ている。
・お花のボランティアの方に来て頂いている。
・コロナの集団発生で通いが難しい時には訪問に切り替えるなど柔軟に対応ができた。
・家族の体調悪化時には安岡病院と連携しレスパイト入院を紹介する事が出来た。
・変化があれば記録に残すようにし、日中、夜間など実際に関わった職員に変化等個別に聞いている。

**できていない点**　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・伝達ノートに記載がなく口頭のみで伝わっており周知出来ていない事もあった。
・介護度の関係上、本人や家族の希望と提供できるサービスの差異があり難しい場合もある。
・地域資源の利用はスワン美容室を活用している。今後こども食堂など幅広く利用していきたい。
・ニーズに応じて提供されているか否か判断が出来ない。
・連絡ノートに簡潔に記入されていないと把握しずらい。（字が読みにくいなど）

**次回までの具体的な改善計画**　（200字以内）

口頭の伝達だけではなく、なるべく文字に残し伝達ノートにて簡潔に記入する。周知出来るようケア記録は細かく残し「変化」に気づきやすく、「特変なし」だけではなく具体的に記入していく必要がある。周知出来ていない事は理由が明確でない事が多い様に思う。ミーテング等でしっかり話し合い決定していくようにしたい。家族に伝えた事なども記録に残し、先の外出等の予定はカレンダーを活用する。

| 事業所自己評価・ミーティング様式 | 実施日 | 令和　5年　12月　15日（　17：30　～ 18：30　） |
|---|---|---|
| ６．　連携・協働 | メンバー | 野端・吉野・村重・山中・初村・磯部・久保・菅藤・織田・岡本・品川・高橋・岩﨑・武永・水戸・門出・徳永・中村 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック項目 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ⓪ | 前回の課題について取り組めましたか？ | 3人 | 12人 | 2人 | | 17人 |

| 前回の改善計画 |
|---|
| ・松涛会のみではなく、他の医療機関とも連携しを強めていく。<br>・状況が許せば、地域のイベント等に出向き、消防訓練等は、参加してもらう。 |

| 前回の改善計画に対する取組み結果 |
|---|
| 他の医療機関とも連携を行う事ができた。他部署の感染対策強化事業、消防訓練に参加出来ている。地域のイベントや安岡kidsのイベントに参加し交流することが出来た。 |

◆今回の自己評価の状況

| 確認のためのチェック項目 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？ | 2人 | 7人 | 8人 | | 17人 |
| ② | 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？ | | 3人 | 6人 | 8人 | 17人 |
| ③ | 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？ | | 8人 | 9人 | | 17人 |
| ④ | 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？ | | 4人 | 10人 | 3人 | 17人 |

| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
|---|---|
| ・防災訓練、地域のお祭りに参加する事が出来た。<br>・安岡kidsのイベントに利用者も参加し交流する事ができた。<br>・医療、福祉用具に関しては連携が出来ている。<br>・運営推進会議を通じて自治体や地域包括支援センターの方とも顔なじみの関係性が出来ている。 | |

| できていない点 | 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること |
|---|---|
| ・コロナの影響もあり地域のイベント等、参加出来ることが少ない。<br>・登録以外の高齢者や子供、地域住民の方が事業所に訪れる事はコロナの影響で出来なかった。<br>・完全にコロナが終息していない為、施設に入れる人、面会人数に制限があり家族以外の来所がない。<br>・自治体の会議など詳細が分からないので参加は出来ていない。 | |

| 次回までの具体的な改善計画 | （200字以内） |
|---|---|
| グループ内の連携は強まっている。コロナ感染が緩和され今後イベント時に案内し地域や家族との交流の機会を設けて行きたい。今後も地域のイベント等に参加していく。 | |

| 事業所自己評価・ミーティング様式 | 実施日 | 令和　5年　12月　15日（　17：30　～ 18：30　） |
|---|---|---|

| ７．　運営 | メンバー | 野端・吉野・村重・山中・初村・磯部・久保・菅藤・織田・岡本・品川・高橋・岩﨑・武永・水戸・門出・徳永・中村 |
|---|---|---|

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック項目 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ⓪ | 前回の課題について取り組めましたか？ | | 12人 | 5人 | | 17人 |

**前回の改善計画**

・事業所の運営について様々な意見があっても良いと思う。意見を聞き出す機会を増やしていく。意見を求められた側は、自身の意見をしっかりと伝える事が出来るように、日頃から考えをまとめておくようにする。
・苦情に関しては、施設側に対する期待の表れという捉え方にする。期待されてないと、苦情さえいわれないようになるものである。

**前回の改善計画に対する取組み結果**

家族や利用者の方は「お世話になっている」遠慮などもあるので意見があった場合にいは皆で迅速に解決策を考えるようにしたい。苦情に対して直ぐに対応したが、意見を聞き出す、伝える事は出来ていない様に思う。

◆今回の自己評価の状況

| 確認のためのチェック項目 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？ | | 10人 | 4人 | 3人 | 17人 |
| ② | 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？ | | 11人 | 4人 | 2人 | 17人 |
| ③ | 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？ | | 5人 | 12人 | | 17人 |
| ④ | 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？ | | 5人 | 10人 | 2人 | 17人 |

**できている点**　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・地域の方からの苦情は、すぐに報告し対応した。（玄関前に長く駐車しない）
・実際に利用者様、利用者家族より苦情があり、上司に報告し対応、後日謝罪した。
・意見を言う事は月に1回のミーティング等で言えてると思う。
・利用者、家族へアンケートを行った。小さい声でも意見や苦情などに迅速に対応し繰り返す事がない様、皆で考え周知し改善に向けて取り組む様にしている。
・家族との面会の際には積極的に声掛け、挨拶を行っている。

**できていない点**　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・知識不足の為意見など言えてない。
・事業所のあり方について意見を求められる事が無かった為、意見を言う事は出来ていない。
・地域の方々から苦情が出ているのか把握が出来ていない。
・運営に反映する意見は良く分からない為、言えてない。
・地域に求められている事を把握できていない。

**次回までの具体的な改善計画**　（200字以内）

利用者、家族へのアンケートを実施、改善に向け取り組んだ。年1回のアンケート内容を答えやすい質問等に検討する。小規模についての勉強会を実施し、小規模に見学に来られた方の対応が職員全員が出来るようになる。

| 事業所自己評価・ミーティング様式 | 実施日 | 令和　5年　12月　15日（　17：30　～ 18：30　） |
|---|---|---|
| ８．　質を向上するための取組み | メンバー | 野端・吉野・村重・山中・初村・磯部・久保・菅藤・織田・岡本・品川・高橋・岩﨑・武永・水戸・門出・徳永・中村 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック項目 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ⓪ | 前回の課題について取り組めましたか？ | | 12人 | 5人 | | 17人 |

| 前回の改善計画 |
|---|
| ・外部研修への参加は、人員数の都合などもあり、参加が難しい事がある。WEB研修の活用を進めて行く。パソコンの操作に不安がある場合は、操作方法を教えるようにする。<br>・リスクマネジメントの視点から、ヒヤリハットは重視する。記入漏れ、確認漏れを減らすだけではなく、内容を理解し、危険防止に繋げていく。 |
| **前回の改善計画に対する取組み結果** |
| ヒヤリハットの件数が少ないように感じる。実際には小さい事でもヒヤリハットを残す事で大きな事故を防ぐ事に繋がる。ヒヤリハット等、内容を理解した上で危険防止の為、事故があった時には１４時のミーテング等で対応策を考えるようにしている。ヒヤリハット報告用紙に家族への連絡確認欄を作る。家族との連絡の詳細、来所時の対応を記入する欄を作成する。 |

◆今回の自己評価の状況

| 確認のためのチェック項目 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか | 4人 | 8人 | 3人 | 2人 | 17人 |
| ② | 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか | 4人 | 4人 | 5人 | 4人 | 17人 |
| ③ | 地域連絡会に参加していますか | | | 10人 | 7人 | 17人 |
| ④ | リスクマネジメントに取組んでいますか | 2人 | 12人 | 3人 | | 17人 |

| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
|---|---|
| ・月に1回の職場内、外の研修やスキルアップの為の研修等、対面式の研修にも参加できている。<br>・リスクマネジメントに関して常に意識して取り組み、日々のミーティングや伝達ノート、ヒヤリハット等の情報はある程度把握できている。<br>・ケアマネ更新研修に参加出来た。<br>・認知症実践者研修への参加、自施設実習についてチームケアに取り組む事が出来た。 | |

| できていない点 | 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること |
|---|---|
| ・ヒヤリハットが事故報告どまりになっている。 | |

| 次回までの具体的な改善計画 | （200字以内） |
|---|---|
| スキルアップをすることの大切さを学び研修参加の意欲を高める。業務終了後でも行っている外部研修は調べれば多くある。自分のスキルアップに必要と思う物があれば高い研修費を出さなくても参加する機会はある。今後は事故報告だけではなくヒヤリハットも重視し小さな事でも書面に残し危険防止に繋げる。<br>外部研修への参加が出来ていない職員がいるため、年1回は研修参加を促すようにする。 | |

| 事業所自己評価・ミーティング様式 | 実施日 | 令和　5年　12月　15日（　17：30　～ 18：30　） |
|---|---|---|
| ９．　人権・プライバシー | メンバー | 野端・吉野・村重・山中・初村・磯部・久保・菅藤・織田・岡本・品川・高橋・岩﨑・武永・水戸・門出・徳永・中村 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック項目 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ⓪ | 前回の課題について取り組めましたか？ | | 17人 | | | 17人 |

| 前回の改善計画 |
|---|
| ・無意識に不適切ケアを行っている場合があると思う。マナーチェック等のツールを使って、話合い、お互いに意識し、改善していく。<br>・虐待に対しては、研修も行うが、ミーテイングでも毎回、グレーゾーン等の事例を挙げ注意喚起を行う。 |
| **前回の改善計画に対する取組み結果** |
| 日々、虐待に対する意識が変化している為、注意喚起を毎回ミーティングや研修、勉強会を通じて振り返り日々のケアに活かせている。自分の考えが方が正しいと思わず他者の意見にも耳を傾ける事も必要。 |

◆今回の自己評価の状況

| 確認のためのチェック項目 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 身体拘束をしていない | 10人 | 7人 | | | 17人 |
| ② | 虐待は行われていない | 5人 | 11人 | 1人 | | 17人 |
| ③ | プライバシーが守られている | | 17人 | | | 17人 |
| ④ | 必要な方に成年後見制度を活用している | | 4人 | 6人 | 7人 | 17人 |
| ⑤ | 適正な個人情報の管理ができている | 3人 | 12人 | 2人 | | 17人 |

| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
|---|---|
| ・身体拘束等は基本的に駄目なのでしていない。<br>・マナーチェック表や、虐待チェック表を活用している。職場の勉強会も行っている。<br>・プライバシーに関しては可能な限り守っている。<br>・個人ファイル等はキチンと片付けてある<br>・不適切なケアにならないよう研修や勉強会を通じて振り返り日々のケアに活かせている。 | |

| できていない点 | 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること |
|---|---|
| ・大きな声で、トイレに行きますかと聞いたり、転倒リスクのある方などトイレ介助の際少し戸を開け外で待っている事や居室内の様子が分かるように少し見える様にすることががある。<br>・成年後見制度は対象者がいなかった。<br>・不適切なケアがありクレームがあった。言葉遣いのマナーが低い | |

| 次回までの具体的な改善計画 | （200字以内） |
|---|---|
| 不適切なケアや言葉遣いに関しては未だにプロ意識が低い為、日頃から意識しておく必要がある。人権やプライバシーについて理解は出来ているが行動に反映するには時間がかかり今後もマナーチェック表などを活用し改善、丁寧な言葉遣いを習慣化していく。不適切なケアを発見した場合、その場で注意し、困難な事例は上司に報告する。職員間でも敬意や節度を守り働きやすい環境を整えていく。メリハリを持って仕事に取り組めば自然と、その場に応じた言葉遣いが出来るようになるのではないか。週1回水曜日の朝礼でマナーチェックを実施する。 | |